



発行
秦野市
農業協同組合
 (神奈川県)
 〒257-0015
 秦野市平沢477
 電話 0463(81)7711(代)
 発行責任者 小島 敏雄
 印刷所 (株)JA情報サービス

今月の特集
 4~5面

農商が連携し地域を活性化
 農業と商業が連携。秦野の魅力あふれる店舗のオープンや、秦野産農産物を使った商品の発売など、さまざまな形で秦野の農産物をPRする。

「かながわ旬菜ナビ」 11月13日(日) 午前9時放送のtvk「かながわ旬菜ナビ」は、20周年を迎えるじばさんずを特集します。オープンの映像を織り交ぜながら、旬菜キャッチャーの松下▽(ぎ)



やくさんかっけい)さんが、じばさんずの魅力をサポートします。
 ①はだのじばさんず運営協議会の三武利夫会長、草山茂副会長にインタビュー②尾尻の高橋庸郎さんと平沢の栗原悦子さんを訪ね、作業をお手伝い(放送の順序は未定)



米の品質を確認する生産者ら

秋深し高品質の新米そろろう

J A はだのは9月28日、今年産の米の検査と集荷を始めた。生産者が、検査会場の大根支所や鶴巻ライスセンター、本所などに米を持ち寄った。検査員を務める職員が、1袋ずつ開封して形質や色つやなどを確認し、等級を付けた。今年産は高温障害が心配されたが、生産者は肥培管理や適期の収穫を徹底し、品質の良い米がそろった。集荷した米は県内の小学校給食に供給する他、じばさんず「名水はだの米」として販売している。



じばさんず20年!

2002年にオープンしたじばさんずは、11月に20周年を迎えます。地域の皆さまの長年のご愛顧に感謝して、11月12日(土)、13日(日)の2日間、周年祭を開きます。

周年祭ご来場を

11月12(土)、13日(日)

市内の生産者が丹精して育てた農産物はもちろん、産地間提携を結ぶ日本各地のJ A の農産物や加工品を販売します。さらに、2000円以上お買い上げの方に、農家からのプレゼントをお渡しします。ぜひご来場ください。

課題解決へ連携確認

経営士が市長らと懇談



地域農業について意見を交わした農政懇談会

秦野市農業経営士会は7日、本所で高橋昌和市長らとの農政懇談会を開いた。経営士の他、県や市、J A の役員ら30人が出席。地域農業が抱える課題について意見を交わし、解決に向けて協力

し合つことを確認した。懇談会は、地域農業のこのままの状態が続け

中核を担う農業経営士の意見を市の農政に反映させ、より良い営農環境づくりを進めようとしている。これまでに、中学校給食への地場産農産物の供給や、落花生の振興策などについて話し合ってきた。伊藤章会長は「農業の現状を知ってもらい、課題を共有できた。秦野で新しく農業を始めていく人たちのためにも、取り組みやすい環境をつくり上げていきたい」と意気込みを話した。

新東名高速道路のサービスエリア周辺の観光農業の充実や、鳥獣被害対策なども討議。鳥獣を捕獲した後の処理について、農家、J A、行政が連携してスムーズな対応を目指すことを確認した。

2年後には市内から酪農家がいなくなってしまう可能性を示し、行政のさらなる支援を依頼した。

国・県の肥料支援金活用を

11月1日~18日に受け付け

肥料の高騰による農業経営への影響を緩和するため、国と県が肥料の購入コスト上昇分の85%を支援する。化学肥料の低減に取り組み、農産物を販売する農業者が対象。秋肥分の申請をJ A はだの各支所・支店で受け付けるので、ぜひ活用を。要件や詳細は次の通り。

- ◎対象の肥料 2002年6月から10月に購入した肥料(今年の秋肥として使う肥料)※J A 以外で購入した肥料も対象
- ◎内容 化学肥料の2割低減の取り組みを行う農業者に対し、前年度から増加した肥料費について、85%(国70%、県15%)を支援金として交付
- ◎申請手続き 11月1日(火)~18日(金)平日午前8時30分から午後5時まで各支所・支店で受け付け
- ◎必要書類 領収書、購買品送り状兼代金請求書、J A 以外の購入分は品名などが記載された領収書など
- 問い合わせは、J A グリーンはだの81-7719または営農販売課81-7718まで。

文中の表彰などの人名紹介の際の敬称は省略させていただきます。

地域一体で管理しつかり

市内90基の捕獲おりを点検



捕獲おりを点検する農家

はだの都市農業支援センターは4、5、6、11、12日の5日間、捕獲おりの現地検討会を開いた。センター職員他、おりを管理する農家や地元猟友会の会員らが、市内90基の捕獲おりを巡回。地域一体となって、設置場所や活用状況などを確認することで、管理の意識付けにもつなげている。

検討会は鹿やイノシシが繁殖期を迎える春と秋の年2回、毎年実施している。市内では今年、鹿やイノシシの目撃情報が増加。農家は現地検討会をはじめ、各自が定期的な点検や巡回を徹底することで被害を最小限に食い止めている。

5日に巡回した東地区では、おり20基を点検し、物等に登録されている。ブランド化を一層進めるため、栽培講習会を開くなど部全体で栽培技術の向上を図っている。

部員の一人は「栽培管理を徹底してきたので今年も品質良く仕上がった。ぜひ多くの人に秦野のおいしい丹沢レッドを味わってもらいたい」と話した。

「丹沢レッド」出荷スタート

管理徹底で品質良好

果樹部会キウイフルーツ部の部員は9月25、26日の両日、早生種のキウイフルーツ「丹沢レッド」を出荷した。部員が選果しておいしいと毎年好評の「丹沢レッド」は、じばさんずで販売した他、県内の市場などに出荷した。



「丹沢レッド」の状態を確認する部員

市長に青パイアヤ贈呈

産地化へ向けサポートを

青パイアヤ研究会は9月26日、市役所で高橋市長に青パイアヤを贈呈した。多くの市民にP Rし、産地化を推し進めていくことが目的。沼田良雄会長ら役員4人が4品種12個を手渡し、引き



高橋市長(中央)に青パイアヤを贈呈

た他、農家から被害の有无などを聞き取った。周辺に獣の足跡が確認できたおりにには餌を十分に仕掛けるように指導し、確認できないおりは設置場所の再検討が必要になることを伝えた。

沼田会長は、昨年の試験栽培の結果を報告した。

高橋市長は「昨年より形、同じ品種でも異なる青パイアヤができることや、植えた場所によって生育状況に違いがあることを説明。今年はいさらなる栽培技術の向上のため、複数の条件下で栽培していることなども伝えた。

JAグリーンは農家を応援します



農薬や肥料などを特別価格で販売

タマネギ栽培関連資材キャンペーンを実施

JAグリーンはだのは11月5日(土)～13日(日)、タマネギ栽培関連の資材キャンペーンを実施します。農薬や肥料、マルチなどを特別価格で販売しますので、お得なこの機会にぜひご利用ください。お問い合わせはJAグリーンはだのまで。☎81-7719

青パイアヤの認知度が向上するようにサポートしていければと述べた。沼田会長は「学校給食などにも取り入れてもらい、多くの子どもや市民に味わってもらえるよう協力をお願いしたい」と話した。

受賞おめでとう!

日頃の成果を発揮

果樹部会キウイフルーツ部は11日、市内圃場(ほり)を巡回し、園管

- ▽優秀賞Ⅱ尾澤健一(南矢名) 尾澤誠一(青島(南矢名) 中村誠治(青島(南矢名) 宮村真樹(大津(北矢名) 須藤良一(大津(菖蒲)
- ▽優秀賞Ⅰ尾澤健一(南矢名) 尾澤誠一(青島(南矢名) 中村誠治(青島(南矢名) 宮村真樹(大津(北矢名) 須藤良一(大津(菖蒲)
- ▽優秀賞Ⅱ尾澤健一(南矢名) 尾澤誠一(青島(南矢名) 中村誠治(青島(南矢名) 宮村真樹(大津(北矢名) 須藤良一(大津(菖蒲)
- ▽優秀賞Ⅰ尾澤健一(南矢名) 尾澤誠一(青島(南矢名) 中村誠治(青島(南矢名) 宮村真樹(大津(北矢名) 須藤良一(大津(菖蒲)

営農技術 ヒント・ポイント

かながわ鳥獣被害対策支援センター 0463-22-9521 (朝原・矢野・島田)

農業技術センター 普及指導部 0463-58-0333

・果樹花き課 果樹(苞屋)・作物加工課 作物(木村) 花き(青木) 加工(中山)

・野菜課 (草野)

経営

温室の省エネ対策について

重油などの燃油価格が高騰しています。経営への影響を緩和するため、省エネ対策が重要です。これから冬季を迎え、施設では本格的に暖房の使用が始まります。省エネ対策の第一歩として、まず使用前に施設の点検を実施しましょう。

① 燃料の点検
重油などの燃油価格が高騰しています。経営への影響を緩和するため、省エネ対策が重要です。これから冬季を迎え、施設では本格的に暖房の使用が始まります。省エネ対策の第一歩として、まず使用前に施設の点検を実施しましょう。

② パーナーノズル周辺の清掃
パーナーノズル周辺の燃料がすすりによる汚れは、燃料と空気の正常な混合を阻害し、不完全燃焼となります。ノズル周辺は1カ月に1回をめぐりに定期的に清掃しましょう。

③ エアークリーン調整
エアークリーンの調整は、事故や故障を防ぐとともに、省エネに結びつくため、必ず行います。

④ エアークリーン調整
エアークリーンの調整は、事故や故障を防ぐとともに、省エネに結びつくため、必ず行います。

⑤ エアークリーン調整
エアークリーンの調整は、事故や故障を防ぐとともに、省エネに結びつくため、必ず行います。

⑥ エアークリーン調整
エアークリーンの調整は、事故や故障を防ぐとともに、省エネに結びつくため、必ず行います。

⑦ エアークリーン調整
エアークリーンの調整は、事故や故障を防ぐとともに、省エネに結びつくため、必ず行います。

⑧ エアークリーン調整
エアークリーンの調整は、事故や故障を防ぐとともに、省エネに結びつくため、必ず行います。

⑨ エアークリーン調整
エアークリーンの調整は、事故や故障を防ぐとともに、省エネに結びつくため、必ず行います。

⑩ エアークリーン調整
エアークリーンの調整は、事故や故障を防ぐとともに、省エネに結びつくため、必ず行います。



詳細は、QRコードから農林水産省エネルギー生産管理マニュアル(改定2版)をご覧ください。

(青木)

色鮮やかな衣装で「たばこ音頭パレード」



息を合わせて「秦野煙草音頭」を演舞

女性部は9月25日、第75回秦野たばこ祭の「たばこ音頭パレード」に参加した。部員12人が、秦野市レクリエーション協会の会員らと一緒に「秦野煙草音頭」を踊りながら、祭りの大通りをパレード。沿道に詰めかけた多くの人の目を楽しませ、3年ぶりの祭りを盛り上げた。

3年ぶりの祭り盛り上げ

同部は、毎年「たばこ音頭千人パレード」に参加し、地域最大の祭りを盛り上げていた。祭りはコロナ禍で中止が続いていたが、3年ぶりの開催が決定。パレードは人数が例年の1割以下に制限され、各支部の有志が参加した。

部員は、色鮮やかな踊り手の衣装を着て、隊列を組み市役所を出発。「秦野煙草音頭」の音楽に合わせて演舞しながら、水無川沿いや目抜き通りを練り歩いた。パレードコースは見物や写真撮影に訪れた多くの人でにぎわった。

生ごみ減量法学ぶ

女性部と女性理事 堆肥作りで研修会



段ボールコンポスト作りに挑戦する部員ら

女性部本部役員と女性理事は9月30日、本所で「生ごみ減量・たい肥を作る研修会」を開いた。女性ならではの視点で、女性組合員が活躍しやすい場づくりを進めようと企画したもの。持続可能な開発目標(SDGs)につながる生ごみの減量への取り組みを学んだ。両者の連携は2015年からスタート。健康や食などの「生活」をテーマに毎年意見交換会を開き、さまざまなアイデアを提案。これまで防災学習会やそば打ち講習会など働きを良くするために基

を企画してきた。今年度の学習会には「小田原生(いき)ごみクラブ」の担当者を招いた。小田原市では、家庭から出る生ごみを減量させるプロジェクトを実施し、生ごみの堆肥化を推進していることを学んだ。また、段ボールを利用して家庭から出る生ごみを簡単に堆肥化できる処理容器「段ボールコンポスト」について説明を受けた。

部員らは、段ボールコンポスト作りを体験。組み立てた段ボールの中に炭やおがくず、生ごみなどを入れ、協力しながらスコップや手でかき混ぜて作り上げた。微生物の働きを良くするために基



講師から調理方法を学んだ

女性部は19日、本所で「JAはだの・家の光クッキングフェスタ」を開いた。地場産農産物を使った料理を通じて、食や料理レシピ動画サービス

「DELISH KIT CHEN」副編集長の井原裕子氏が務めた。「フライパンひとつで何つくる?」日々の食卓を簡単においしく!と題して実演した。参加者は、炒め物やサラダなど3品の調理を見学。講師から調味料を入れる順番や肉を柔らかくする方法など、料理をおいしくするポイントを教わった。その他、地場産の食材を使用したオリジナルレシピも紹介。最後に、講師が書いたレシピ本がもらえる抽選会も行った。

おいしい調理法学ぶ

材料を乾燥させておくことや、貝殻や動物の骨は分解しにくいことなども学んだ。

いきいき女性部活動



東支部 才玉班 小泉 裕子さん

私が女性部に加入した頃の班は、時代の流れや高齢化で解散の危機に直面していました。それでもみんなで集まって話し合い、合併して一班で活動することになりました。今では3人となってしまいましたが、それまでは7人で食事に行ったり、シバザクラを見に行ったり、部員宅で花見をしたりと楽しい時間を続け、交流を深めてきました。また、支部活動や本部の活動にも参加し、有意義な時間を共有してきました。

女性部活動で得られたつながりは、他に代え難いものがあり、何歳になっても元気で明るい皆さんと続けていけたらと思います。今はコロナ禍などで気持ちも沈みがちですが、これからも積極的に活動し、仲間との絆を深めて元気を頂き、知識や感動を求めて心と頭を充電したいと思えます。

支部だより

東支部 健康講話
東支部は12日、東支所で健康講話を行った。部員19人が参加した。

伊勢原協同病院の職員が「転ばないでいきいき暮らす」いまから始める「転倒予防体操」と題して講話した。講師は、転倒の原因などを説明。転倒は、段差がある場所よりも、油断しやすい平らな場所が一番起こりやすいことも伝えた。

部員は、転倒予防体操を実践。講師から体の動きかしの説明を受けながら、椅子に座ったり、立



転倒予防について学んだ健康講話

大根支部 折り紙教室
大根支部は14日、大根支所で折り紙教室を開いた。手芸を得意とする目的別趣味グループ「すすりの会」のメンバーが講師を務めた。参加した部員ら10人は、3枚の折り紙で作ったパーツを組み合わせる「こま」作りに挑戦。講師に折り方を教わった後、好きな色の折り紙を選んで一つ一つ丁寧に作り上げた。その他、チラシやカレンダーなどで作る「小物入れ」も教わった。



講師に折り方を教わる部員

2022年度女性部座談会日程表

下記の日程で女性部座談会を開催します。多くの部員の出席をお願いします。

	9:30~11:30	13:30~15:30
	会場	会場
11月28日(月)	鶴巻支店(大根) 南支所(南)	蓑毛下会館(東) 西支所(西) 上支所(上)
11月29日(火)	北矢名東部自治会館(大根) 名古屋会館(東)	本町支所(本町) 北支所(北)
11月30日(水)	落合会館(東)	東支所(東) 三屋会館(北)
12月1日(木)	大根支所(大根) 西支所(西)	菩提上会館(北) 南平会館(大根)
12月2日(金)	西大竹会館(南)	

11月の女性部行事予定表

1日(火)	13:30~JA女性部長・事務局会議
2日(水)	13:30~本部役員会
6日(日)	10:00~第2回フレッシュミズ講座
13日(日)	10:00~女性部バザー
14日(月)	8:30~西支部「支部旅行」
15日(火)	8:30~南支部「支部旅行」
//	9:00~北支部「消しゴムはんこ作り」
21日(月)	10:00~北支部「ミカン狩り」
22日(火)	9:30~令和4年度食を学ぶ研修会
//	13:30~東支部「ぶどうのアクセサリー作り」
25日(金)	8:30~第3回歩こう会
//	13:30~南支部「花の寄せ植え」

※新型コロナウイルス感染症の影響により、予定が変更になる場合があります。お問い合わせは生活福祉課まで。☎72-7661



講座で共通講義

JAはだのは9月29日、本所で協同組合講座の受講者を対象に共通講義を開いた。持続可能な開発目標(SDGs)について理解を深めてもらうと企画。約40人が、SDGsの概要や協同組合活動との関わりについて解説。協同組合とSDGsについて解説する講師

SDGsと 協同活動学ぶ

SDGsの目指す世界が同じであることを説明し、協同組合活動の重要性を改めて伝えた。受講者は「相互扶助の精神は、SDGsの基本理念、誰一人取り残さないに類似していること」を感じを話した。

サツマイモ収穫を体験 地域農業に理解を

大根支所運営委がつどい



委員⑥のサポートで収穫

大根支所運営委員会は、准組合員らに地域農業やサツマイモを体験してもらうため、9月24日、サツマイモの収穫体験を開いた。

委員はつるを切った後、中が埋まったサツマイモをシャベルで掘り起こして体験を深めた。近所で体験できると好評だった。

JAはだのは14日、子育て支援活動「ままメイトクラブ」を行った。市内在住の未就学児とその親7組15人が参加し、柳川の畑でサツマイモの収穫を体験した。



上村店長が薦める秦野産茶のタピオカミルク煎茶

駅でおいしさ発信

登山客らに茶などPR

市内で地域おこしに取り組み、エンタメ型地域活性化コミュニティ「Nature Activity Base TANZAWA BIYORI」をオープンさせた。駅で地域の魅力や文化を発信する小田急電鉄(株)のプロジェクト「Meet at STATIONS」の一環として、秦野駅の改札階にカフェ&Bar「Nature Activity Base TANZAWA BIYORI」をオープンさせた。

地域活性化や 地産地消に期待も

市内で、農業と商業が連携し、秦野の魅力あふれる店舗のオープンや、秦野産農産物を使った新たな商品が注目を集めている。幅広い世代に、さまざまな形で秦野の農産物をPR。地域活性化や地産地消の加速に期待がかかる。



片野さんが作る秦野産小麦のピザ

もちもち食感。ピザ

小麦「ゆめかおり」使う

柳町に新たにオープンしたピザ店「ピザダイナー ウォーク」が人気を集めている。店主の片野拓実さんは地産地消を推進している。

片野さんは「自分自身も登山が趣味なので、山登りで訪れた人に秦野産のおいしさを知ってもらえたらうれしい。地域の方も気軽に食べに来てもらえればと笑顔を見せた。

農商連携

生協が納豆を販売

粒がしっかりと濃厚な味

菩提の農業生産法人(株)大地が生産する大豆が、生協同組合「津久井在来大豆」で製造した納豆を販売していたが、収量が不安定で確保できないことが課題となっていた。より多くの組合員に納豆を届けようとして、交流のあった(株)大地に協力を依頼し、商品を作り直した。



「つながるひろがるゆめ納豆」を手にする小泉代表

商品の発売前には、生協の理事が菩提の畑を訪れ、栽培中の大豆を見学しながら(株)大地の小泉雄代表から栽培方法などについて説明を受けた。

Sun's Gelato 秋の味も

JAはだのジェラート店「Sun's Gelato」に、秋の味覚が登場した。野菜の甘味を生かしたサツマイモやカボチャなど、秋の味わいをラインアップ。幅広い世代に秦野の農産物の魅力を伝えている。



秦野産を使ったサツマイモジェラート

同店のメニューは、季節ごとに旬の秦野産を使ったジェラートなど10種類を用意している。今後はミカンや新米の「はるみ」を使ったジェラートも販売する予定だ。

JAはだのは9月29日、運動広場で「第10回JAはだのターゲットゴルフ大会」を開いた。コロナ禍で3年ぶりとなった大会に、組合員ら100人が参加した。

農地有効活用へ 体験型農園視察

組合員講座の受講者

組合員講座の受講者9人は14日、平沢の体験型農園「名水湧く湧く(わくわく)農園」を視察した。市内唯一の体験型農園を見学し、農地の有効活用事例を学ぶことが目的。園主の和田礼子さんから、開園までの経緯や運営方法などの説明を受けた。



サツマイモ掘りを体験する親子

岩田賀津美委員長は「中止が続いていたが2年ぶりに開催でき、多くの人に楽しんでもらえて良かった」と話した。「サツマイモの蒸しパン」を配った。

発見 居心地のいい店に

西田原の一五味測 ヨシさん(77)



西田原で「美容室よし」を営む五味測ヨシさん。栃木県で生まれ育ち、美容師を目指して中学卒業後に東京都の美容学校に入学した。その後は渋谷区積木中で、仕事の大変さに、24歳での結婚を機に秦野市に移住し、1980年に同店をオープン。開業当初からの常連客も多く、市外からの利用客も訪れる。

「仕事内容は？」髪のカットやセット、パーマなどはもちろん、着付けもしています。お客さま一人一人の要望に応え、満足いただけるような接客に努めています。

「今後の展望は？」秦野に移住した当時、お客さまにとって居心地の良い店づくりを心がけています。たくさん美容室があるけど、このお店が一番ね」と言っていた。お客さまや家族のためにも、元気に過ごしていきたいです。

JAはだのは9月28日、本所で「体けんき食」の講習会を開いた。参加した25人が、免疫力を高めるために必要な栄養素などを学んだ。

JAはだのは14日、子育て支援活動「ままメイトクラブ」を行った。市内在住の未就学児とその親7組15人が参加し、柳川の畑でサツマイモの収穫を体験した。

健康な体づくりを考える



免疫力を高めるメニューの調理を見学

免疫力を高めるメニューの調理を見学。参加者は、講師が考えた「体けんき食」の調理を見学。発酵食品を使用し、食物繊維も豊富に含んだ「鶏肉のみそソール」や「塩蒸した食材を摂取して、免疫力を高める」など

4品の調理方法を学んだ。尿失禁をテーマに健康教室を開いた。組合員ら32人が参加した。

文芸の窓

〈俳句〉(酒井 敏光 選)
 罪の無き真赤な嘘や彼岸花 吉田 清美(渋沢)
 寺へ坂杖つく人に赤とんぼ 菊池としえ(菩提)
 おち葉すみ裏山やと鎮もりぬ 志賀 明子(千村)
 野仏に野菊を挿して心足る 芦川 松江(八沢)
 晩秋や茜の雲を棚引けり 石原 松枝(渋沢)
 神官のまぶた二重や神無月 石田 陽子(ひばりヶ丘)
 川曲る水音さへる秋ひと日 高橋 順子(大森町)
 法師蟬母の声聞き鳴き止みぬ 柳川みち子(栄町)
 余命など解らぬが良し神無月 佐藤英美子(南矢名)
 後の月冷えて掌を揉み脚を撫で 森高 由子(渋沢)
 彼岸花女はふたつ顔をもつ 高島美和子(名古屋)
 宛名無き手紙の届く神無月 選者

〈短歌〉(久保寺 富男 選)
 よみがえる丘陵詠みたる寅彦の 新な句碑は語り部とならむ 細田 富士(千村)
 評 震生湖畔、南小学校、そして震生湖の 駐車場に建てられた新な句碑(そば 陸稲丸山越す秋の風)に震災の記憶を忘れないようにとの願いを込めたのである。

新米に栗を炊き込み夕ご飯 水落美和江(鶴巻南)
 話題はいつしか子供の頃へ
 先頭の笙続く笛艇奏でいる 八木 実(鶴巻北)
 僧らの顔は日焼けしておける
 亡き友と鮎をつかみし川の 安居院輝雄(上大槻)
 燥く園児の声の聞こえ来 若かりし頃を思い微笑む 石田こずゑ(水神町)
 秋彼岸無人直売の菊の束 伊東 久(渋沢)
 小さな墓のにわか華やく 嫁の料理の夕餉は楽し 今井 かめ(羽根)
 空を見る猫は自分の目の色が 空より青いことを知らない 大木かずひろ(名古屋)
 似て非なるもの一つぞはうすきと 似たばみの文字を漢字に書けば 選者

今月の理事会

9月27日、10月20日に理事会を開催し、次のことを審議しました。
 【9月理事会議案】
 ▼2022年度上半期事業報告について
 ▼仮決算基準の改正について
 ▼組合員教育対策委員会への諮問について
 ▼国および県による肥料高騰対策事業の対応について
 ▼高額貸出金の借入申し込みについて
 ▼10月理事会議案
 ▼内部監査規程の改正
 ▼半期開示内容(ディスクロージャー)について

安全意識の向上へ活用

農作業安全標語の入選3作品決まる

秋期農作業安全運動の促進することを目的に一環として、7月に機関募集。今年は70人から1紙「JAはだの」で募集した農作業安全標語の入選作品が決まった。入選した作品は、来年のJAはだのオリジナルのJAはだのオリジナルのカレンダーの他、農作業安全運動の看板に掲載する予定。今年の特選標語は上の3点。

ぜひ多くの出品を

第58回農産物品評会開催

農産物の生産意欲と栽培技術の向上、優良品種の普及を目的に、第58回農産物品評会を開催します。

赤信号!
 橋山 正巳(堀山下)
 原 昭子(下大槻)
 安全散布
 小室 照子(渋沢)

農作業 油断は危険の
 万二に より添うみんなの
 農業は 正しい基準で

◎会場 本所3階 虹
 ◎日程 11月17日(木) 午前8時30分～同10時30分



棒倒しや玉入れ楽しむ 「運動会」

J-Aデイサービスセンターはだののイベントやボランティア活動を紹介します。

◆ 当センターは、利用者同士で体を動かしました。競技の合間には職員が応援ダンスを披露し、利用者と一緒に運動会を盛り上げました。今後も、利用者に楽しんでもらえるようなイベントを定期的に開いていきますので、興味のある方はお気軽にご連絡ください。

お問い合わせは、JAデイサービスセンターはだのまで。☎85-1517

利用者は紅組と白組の2チームに分かれ、お手玉

楽しいよ デイサービス

の健康増進などを目的に、年間を通してさまざまなイベントを開いています。12、13の両日には運動会を開催しました。デイサービスセンターはだのまで。☎85-1517

家の光 今月の新刊

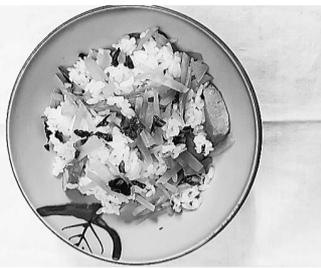
有元葉子の和の食材

豆 有元葉子 著
 豆好きである有元葉子さんが作り続けている豆料理。大豆や黒豆など昔から食べられている豆の他、エダマメなどの生の豆も使用し、和食・洋食・中東料理と幅広く紹介。乾燥豆の戻し方、ゆで方も写真入りで解説。定価1870円(税込)

自然な色合いと質感を愉しめる はじめての ナチュラルドライフラワー 吉本博美 著
 生花の美しい色合いと姿が長くキープできる、ナチュラルドライフラワーの作り方。著者が自身の教室だけで教えてきた、乾燥方法や花の選び方、飾り方を丁寧に解説。123品種の図鑑付きで好みの花が選びやすい。定価1870円(税込)

青パパイアとウインナーの混ぜごはん

東支部 込山 ゆきゑさん



■材料(4人分)■
 温かいごはん4杯分、青パパイア(Lサイズ)1/2個、ウインナーソーセージ6本、小松菜1/2束、オリーブオイル大さじ1、麵つゆ(2倍濃縮)大さじ2、塩・こしょう少々、ごま油小さじ1

<作り方>
 ①青パパイアの皮をむき、種を除いて千切りにする。水に30分浸したらざるにあげる。
 ②ウインナーソーセージは斜めの薄切り、小松菜は水で洗って幅1センチに切る。
 ③フライパンにオリーブオイルを入れて中火で熱し、青パパイアを炒める。やわらかくなったら、②を入れてさらに炒める。
 ④③に塩・こしょうと麵つゆを入れる。蓋をして1～2分煮つめたら、ごま油を回しかける。
 ⑤ポウルなどに入れたごはん④をつゆごと入れて、混ぜたら完成。

<ひとことアドバイス>
 おかずいらすの簡単混ぜごはんです。青パパイアのシャリシャリ感を楽しみながらおいしくいただけます。ウインナーソーセージの代わりにベーコン、小松菜の代わりにインゲンマメを入れても作れます。

農家の飯

秦野の飯

77歳(喜寿)

長寿者に記念品贈呈

おめでとうございます。末永くお元氣でお過ごしください。

100歳以上
 ▼北地区 久保寺ヨシ子(戸川)

88歳(米寿)
 ▼大根地区 佐野公子(鶴巻)

▼本町地区 栗田サト(曾屋) 石田トヨ(曾屋)

▼西地区 飯田すみ子(春日町)

▼西地区 相原正幸(菩提)

▼西地区 大沢雄一(渋沢)

※自己申告ですので、該当の方は誕生月の前月未までに各支所・支店にご連絡ください。

少しい工夫で驚くおもしろ 今日からはじめよう 減塩ごはん 小田真規子 著
 おいしいから無理なく続けられる減塩レシピ。

